

表 5 半導体歯ブラシ群の PI-I の経過変化

PI-I		Before	1W	2W	3W
半導体歯ブラシ群	M	1.58	1.27	1.16	0.93
	S.D	0.42	0.60	0.51	0.43
	範囲	0.83~2.50	0.17~3.00	0.33~2.17	0.33~1.80
対象歯ブラシ群	M	1.80	1.45	1.20	1.05
	S.D	0.64	0.71	0.70	0.51
	範囲	0.63~3.00	0.33~2.83	0~2.67	0~2

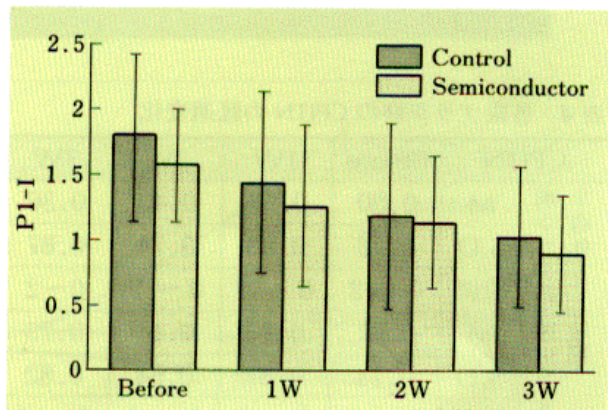
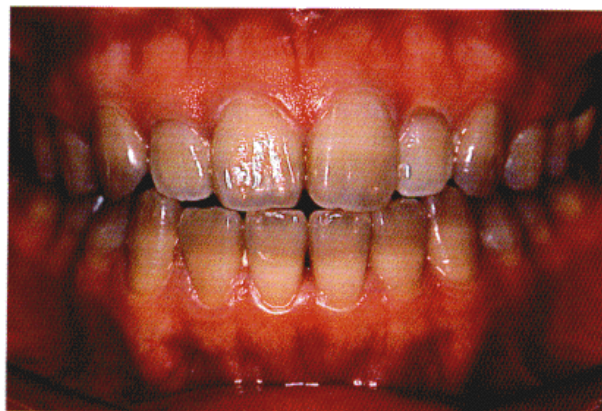


図 6 PI-I の経過変化



A-1 染め出し前



A-2 染め出し後



A-3 ブラッシング後

ピング法を事前に練習させてから、歯ブラシ使用を開始した。また、歯磨剤は表 2 に示す基礎歯磨剤を作成し、被験者全員に使用させた。なお、ブラッシング時の光源は日常のブラッシング状況を考慮し、蛍光灯照射下が多いものの特に光源および照度などの条件指定はしなかった。

2. 評価基準

歯周状況は PMA-I, CPITN の 2 指数を用いて評価した。

PMA-I は、主に前歯部の歯肉を歯間乳頭部、辺縁歯肉部、付着歯肉部の三部分に分け、歯肉炎の存在する部位数から歯肉炎の疾病量の多少を知るものである。対象部位は $\frac{3}{3} \pm \frac{3}{3}$ で、最低点 0, 最高点 34 である。